

作業は難航のもようだった。欧米などではロシアの「無差別攻撃」に非難が高まり、バイデン米大統領は17日、ロシアのプーチン大統領を「人殺しの独裁者」と糾弾した。

西部リビウ州のコジツキ一知事によると、州都リビウの空港の整備場に18日朝、ミサイル4発が着弾し、1人が負傷した。ウクライナ軍は、巡航ミサイルが黒

海付近から6発発射されたが、2発は迎撃したと発表された。17日付米紙はロシア軍の7千人超が戦死したとの推計を報じた。ロシアは2日



ロシア軍の空爆で壊されたウクライナ・マリウポリの劇場 18日(ウクライナ内務省提供・Getty Images 共同)

# 「最悪事態想定し備える」

## ハンガリーで避難民を支援 吉田医師、現状説明



ロシアのウクライナ侵攻から逃れた避難民を隣国のハンガリーで支援しているNPO法人「TICO」



オンライン会見でハンガリーでの支援活動や避難民の様子を語る吉田医師

(吉野川市)の吉田修代表理事(63)＝同市山川町前川、医師＝が18日、ハンガリーの支援先でオンライン会見を行い、避難民の状況について語った。ウクライナでの医薬品不足にも触れ、支援に取り組む意向も示した。

国際医療援助団体「AMDA」(岡山市)と合同医療チームを組む吉田医師はウクライナ国境付近の街ベレグスラーニーに設けられたヘルプセンターで15日から支援活動に従事。診察する現地医師らの相談に乗るなどしている。仮設診療所には1日当たり10人程度が訪れる。国境近くには戦闘機の飛来や爆撃はなく落ち着いた状況が続くというものの、「戦闘が国境近くで起これば、けが人や病人が増えるのではないか。最悪の事態を想定して備える」と危機感を募らす。

センターにはハンガリー国内のNGOやボランティアのサポートが行き届いており、避難民は宿泊設備や温かい食事、シャワー、トイレなどの提供を受けている。父親は戦うために国に残り、出国できた女性や子どもが姿が多く見られると話した。

(南志郎)

の演説について、23日午後6時からオンライン中継で実施される方向となったことが18日、分かった。衆参両院は22日を打診し、ウクライナ側が23日に行いたいと衆院側に回答した。複数の与党関係者が明らかにした。演説は両院が合同で開催

# 岩手

## M

18日午後11時25分ごろ、岩手県沿岸北部で震度5強の地震があった。気象庁によると、震源は岩手県沖で震源の深さは約20キロ。地震の規模はマグニチュード(M)5.5と推定される。津波の心配はない。

(2・25面に関連記事) 首相官邸は危機管理センターに官邸連絡室を設置した。総務省消防庁の全国瞬時警報システム(Jアラート)は予想最大震度5弱程度以上の緊急地震速報を出

